

ムーンショット型研究開発制度に係る 戦略推進会議の進め方等について

ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議について

設置趣旨

研究開発の戦略的な推進、研究開発成果の実用化の加速、関係府省や関係研究推進法人の間の効果的な連携・調整を図るため、産学官から構成される戦略推進会議を設置。

役割

- (1) 原則として、毎年度、研究推進法人から進捗等の報告を受け、ムーンショット目標の達成に向けて、全体俯瞰的な視点から、プロジェクト構成の考え方、資金配分の方針等に関して承認・助言を行う。
- (2) 研究開発成果の橋渡し、民間との連携、官民の役割分担を踏まえた適時の民間投資の呼び込みを含め、研究開発成果の社会実装に向けた方策を助言するとともに、研究開発成果の社会実装等に関する支援を行う。また、国際連携を促進するための助言も行う。

戦略推進会議

助言等

報告

JST

(科学技術振興機構)

NEDO

(新エネルギー・産業技術総合開発機構)

BRAIN

(生物系特定産業技術研究支援センター)

AMED

(日本医療研究開発機構)

【構成員】

座長、座長代理、
産学の有識者、関係府省

【助言等事項】

- ・プロジェクト構成の考え方
- ・資金配分方針
- ・社会実装等の方策
- ・国際連携促進等

【開催頻度】

懇談会も含め、年2～3回
程度開催

ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議の目的

健康・医療分野における運用・評価指針（抜粋）

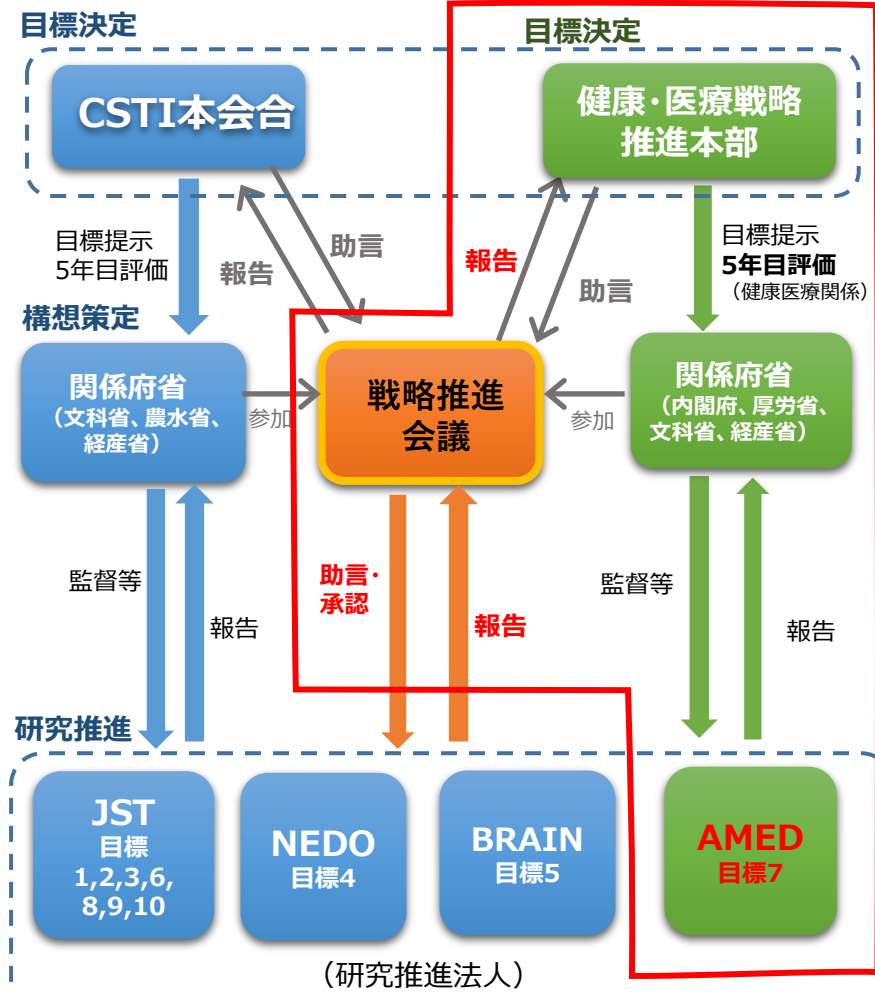
【研究開発の評価等】

- 研究開発法人は、外部有識者による評価体制を構築し、外部評価を実施する。
- 外部評価の実施時期は、原則として、研究開始時点から3年目及び5年目とし、5年を超えて継続することが決定した場合には、8年目及び10年目とする。
- 研究推進法人は原則として毎年度（外部評価を行う年度以外）、次項（参考資料5参照）で定める評価基準を踏まえて自己評価を行い、その結果を戦略推進会議及び関係する構想を策定した省庁に報告する。

【研究開発の推進体制】

- 健康・医療戦略推進本部（以下「本部」という）に置かれる有識者会議は、研究開発の進捗状況等について、ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議の議論に関して原則として、毎年度報告を受け、本制度全体の推進に関し、大局的見地から助言する
- 本部は、研究開始時点から5年目にMS目標に対する進捗状況、今後のMS目標の達成の見通しを評価し、MS目標の達成に向けた研究開発（プログラム）の継続・終了を決定する。

研究開発の推進体制（フロー図）



ムーンショット型研究開発制度における目標毎の評価スケジュール

- 目標4・5は、昨年6月のCSTI本会議で後半5年のプログラムの「継続」が決定
- 目標1・2・3・6は、今年度CSTI本会議で後半5年のプログラムの継続・終了を決定する予定
- **目標7は、今年度が5年目であることから健康・医療戦略推進本部で5年目評価を実施し、プログラムの継続・終了を決定する予定**
- 目標8・9は来年度、目標10は令和11年度のCSTI本会議で5年目評価を実施予定

